

令和7年度 第2回 上島小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年7月1日（火） 14時00分から15時30分
- 2 開催場所 上島小学校 会議室
- 3 出席委員 加藤 憲司、山本 暢子、大橋 薫、白澤 かおる、有賀 愛、
山崎 真弓
- 4 欠席委員 青木 榮治、森園 大介、松本 貴聖
- 5 オブザーバー 伊藤 成明（曳馬協働センター）
- 6 学 校 岩崎 光宏（校長）、竹田 良子（教頭）、
高畠 美保（主幹教諭）、高橋 靖人（担当）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CS ディレクター 清水 遥

10 議長の選出

司会から、議長の選出について前回の協議会にて皆様のご意見をいただき、加藤会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

（1）現在の児童の実態と今後の上島小の在り方について

- ・運動会（5月）
- ・学校公開（6月）、その他

（2）家庭や地域で出来ること

12 会議記録

司会から、委員総数9人の内6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

議長の指示により、「現在の児童の実態と今後の上島小の在り方について」、「家庭や地域で出来ること」について、グループに分かれ意見交換を行った。

委員からは以下の発言があった。

【Aグループ】（大橋委員、山崎委員、主幹、高橋、教育総務課 指導主事）

【Bグループ】（山本委員、白澤委員、教頭）

【Cグループ】（加藤委員、有賀委員、校長、清水）

(○：成果 ▲：課題 ☆：改善策)

(1) 現在の児童の実態と今後の上島小の在り方について

《運動会(5月)》

【児童の様子について】

- 子供たちが楽しそうで、輝いていた。
- 短い時間の中で各学年の良さが出ていて、全体的な盛り上がりもあってよかった。
- 3・4年生は1・2年生のチェッコリの応援、5・6年生はソーランを応援していた。自分達がやったことをふり返っていた。声を出していた。
- 応援が熱くて感動する。自分の学年だけでなく、他の学年にも本気の応援をしているのが良い。
- 運動が苦手と思っている子も目標がもてていた。
- 6年生(場面によっては5年生)が上級生としての自覚を持って行動できた。
- 他学年の応援を積極的に行い、心を一つに出来た。
- 上級生が下級生をサポートする姿が見られた。
- 学年団の集団演技は見る人達に感動を与えてくれた。子ども達の一体感を感じた。
- 学年が変わり慣れない中の短い期間でも素晴らしい仕上がりで感動しました。
- ▲ 徒競走の時に、決審係の児童と走者がぶつかりそうな場面があった。

【保護者(参観者)の様子について】

- 運動会に約100人の保護者ボランティアが集まったことは、素晴らしいと思った。新しい方向性が見えてきたように思う。
- 3年間ボランティアとして参加しているが、毎年、ボランティア同士で良いアイデアを出しながら活動できている。
- 児童引率をした保護者ボランティアの方が、とても楽しそうにしていた。
- 無断駐車もなく、徒歩や自転車で来場していた。
- 保護者と教職員の挨拶のやりとりが各所で見られた。
- ▲ 会場付近の喫煙が気になった。

【教職員の様子について】

- 徒競走の時に、児童の走る姿を安心・安全に間近に見ることが出来る配慮があった。(※例 走行順の提示。ゴール地点での安全への配慮など。)
- 事故や怪我が起きないようにないように教職員同士が連携しながら、注意を払って運営していたように感じた。
- 運動会の練習を指導する教員の声がよく聞こえるが、子ども達のやる気を引き出す言葉かけで気持ちよかった。
- 応援や指導など児童への細かい配慮を感じた。各職員の役割が明確で良かった。
- ☆ 時間の短縮+全校種目を加えたい(保護者・地域の方も巻き込んで)。

《学校公開(6月)、その他》

【児童の様子について】

- 授業や休み時間など、普段の子ども達の姿を見ることが出来た。
- たつぷりと時間があり、色々な学年・学級の参観ができた。
- 担任以外の授業も実施されたので、子どもたちは、自分の好き、得意な教科も見てもらえたのではないかな。
- 年々、挨拶ができる子が増えていてうれしく思う。
- ▲ 3日間ということもあり、子ども達が少し落ち着かなくなった。

【保護者(参観者)の様子について】

- 数多くの保護者の方々が熱心に参観をしていた。
- 参観されている方のマナーが良かった。(子ども達を見てくれていた。)
- ▲ 3日間、保護者が来られない家庭もあり、該当児童についてはつらいと感じた。
- ▲ 授業中のLINEや電話が気になった。
- ▲ 児童と保護者の心の距離が近く、休み時間が休日の公園のようになり、親子で遊ぶ姿があった。

【教職員の様子について】

- 様々な教科や担任以外の授業も公開することができた。
- ▲ 3日間で各日3時間、計12時間の公開で、子供や教師の疲れを感じた。

(2) 家庭や地域で出来ること

《家庭や地域が出来ること》

- ▲ 自治会役員の参観率が低い。
- ☆ 自治会内で声を掛け合って、参観者を増やしたい。各自治会の連携を図る。
- ☆ 最近はタブレットを使った授業も増えている。タブレットを使った授業でも地域の方のボランティアに入ってもらうのも良いのではと感じた。

その他報告事項等

- ・ 家庭科のボランティア募集、図書ボランティアで来ていただいた方にもご協力いただいた。ミシンや書初め、夏休みの花壇の水かけなど気軽に学校に来ていただき、学校の様子を見て帰って欲しい。(教頭)
- ・ さくら連絡網以外の連絡手段はないが、民生委員等の名札のある人はいつでも来ていただきたいと思っている。老人クラブなど色々な立場の方にも参加してもらいたい。(教頭)
- ・ 曳馬塾は、学習支援曳馬ボランティア委員会として、をもともと上島小でやっていた。その後、困っている家庭の子供たちを集めて現在は曳馬協働センターなど色々な協働センターでやっている。夏休みは協働センターとコラボしている。浜松市の子育て支援課から支援を受けている。昨年からは居場所づくりと子ども食堂をやっている。

いる。毎週１２時からやっていて、３０～３５名分。曳馬塾は学習塾に行っていない子で小学４年生～中学３年生までなら誰でも参加できる（加藤委員）

- ・ 司会から、次回会議は、１０月２７日（月）午後１４時から、会議室で開催する旨の報告があった。
- ・ 司会から、次回の議長の選出について委員に意見を求めたところ、大橋委員から加藤会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。